

令和7年度宮崎県森林環境税活用検討委員会議事録

<p>R7.6.27 (金) 10:00~12:00 場所：防災庁舎5階 防51号室</p>	<p>出席者 委員：10名中9名（委員1名欠席） 県：部長、次長、各課・室長等</p>
<p>発 言 者</p>	<p>発 言 内 容</p>
<p>○部長挨拶 ○検討事項</p>	<p>(1) 令和6年度使途事業の実施報告について (2) 令和7年度使途事業における改善事業等について (3) 次期宮崎県森林環境税の検討状況について</p>
<p>○質疑 委員  環境森林課  委員  環境森林課  委員  環境森林課  委員</p>	<p>【(1) 令和6年度使途事業の実施報告について】</p> <p>苗木養成技術の指導研修はどこでしているのか。</p> <p>緑化の苗木を作っている緑花木組合に委託しており、その圃場等で指導をしている。</p> <p>弊社も今年から従業員をボランティアの形で勉強に行かせたかったが、人数がいっぱいで今年は受けられなかった。継続だけでなく、新しい人も積極的に入れていただけるとありがたい。</p> <p>委託先の緑花木組合と意見交換してまいりたい。</p> <p>宮崎県環境情報発信強化事業のアクセス数が令和6年度に下がっている原因等はあるのか。</p> <p>令和5年度にホームページの全面リニューアルを実施し、このときまではホームページのページが変わる度に1カウントとしていたが、リニューアル後、一連のページを見れば1カウントとして、カウントの仕方を変えたことが影響している。</p> <p>アクセス数の評価の仕方が変わったということだが、アクセス数自体はどうだったのか。</p>

環境森林課	利用者数でいうと、ほとんど変わってないと聞いている。
委員	生物多様性地域活動等推進事業の実施件数が6件あるが、毎年変わらないのか。増えたところもあるのか。
自然環境課	昨年度、一昨年と同じ市町村である。
委員	先月、都城市内の浜宮池にも絶滅危惧種の水生生物がいたので、このような事業に取り組めるのではないかと思った。 実施しているのは県北が多いが、県央や県南でも生物多様性を保全するところがあると思うので、新たな地域で実施するのも必要ではないか。
自然環境課	前年度に要望をとっているので、是非手を挙げていただきたい。
委員	被害要因除去事業と緊急被害対策事業の実績額が少ないのは、松くい虫被害が少なかったからなのか。
自然環境課	被害はここ数年が増加しており、6年度は労働力の確保が困難だったことなどから年度内に完了できなかったため、7年度に予算を繰り越し、事業を実施しているところである。
委員	松くい虫被害が増加した原因を教えてください。
自然環境課	温暖化の影響による異常な高温や令和4年の台風の影響により樹勢が弱まったことなどが原因の一つと考えられている。
委員	素材生産事業者による再造林推進モデル事業の2番、「造林補助システム研修事業」というのは一体どのような事業か。
森林経営課	森林整備事業という国庫補助事業があり、対象者である素材生産事業者に対してそのシステムの使い方等を研修しているもの。
委員	パソコンを使った作業か。
森林経営課	そのとおり。
委員	生物多様性活動強化事業について、県民等を対象とした研修会、講演会はどういう形で開催したのか、また、その告知はどのような方法で行ったのか。というのも、私たちの活動エリアが本年度3月に環境省の自然

	<p>共生サイトの認定を受けたが、たまたま、この制度のことを知り合いから教えてもらったので知り得たが、それまでは知らなかった。色々なことを普及活動するのであれば、より情報を取りやすくすることが大事だと思う。</p>
<p>自然環境課</p>	<p>生物多様性活動強化事業については、森林環境税の財源を使ってはいないが、重要生息地での現地講習会や野生動植物保護監視員・自然保護推進員の確保育成という目的で研修会を行っている。</p> <p>周知方法は、野生動植物保護監視員等については文書でお知らせするほか、県のホームページ等で周知を行い参加いただいている。</p>
<p>委員</p>	<p>生態系の保全活動や支援を受けたいと思ったときに、どこにどう申請すればいいのかを地域住民の方は知っているのか。</p>
<p>自然環境課長</p>	<p>この事業は、市町村が実施主体で、申請自体は市町村なので、まず市町村の方にお問い合わせいただいて、市町村から県自然環境課の方に要望書を上げていただく流れになっている。</p>
<p>委員</p>	<p>夫が林業をしているので、子供たちにも山のことを知ってもらいたいといった思いがあり、中学校の授業で自然環境教育分野や林業等関係者を招いて講師をお願いするなどして、活動をしている。環境森林課や緑推からの助成金で活動させていただいているが、事業の情報が無かった。申請の期間が決まっているため、申請までたどり着かないこともある。県の税金を使った事業をもっと多くの方に知っていただいたほうが良いと思う。ホームページの他、周知方法を模索していくのが大事なので、県もそういった働きかけがあれば良いと思う。あと、どうしても同じ実施主体が多いようなので、もちろん継続も大事だが、新たにその情報を探している方やまだ繋がっていないところにも繋がられるような工夫が必要なのではないか。</p>
<p>自然環境課</p>	<p>市町村が実施主体となっていく事業が多いため、県から市町村への文書等は出すが、なかなか県民が知り得ない情報等もある。県のホームページやSNS等を活用してできるだけ広くPRできるように努める。</p>
<p>委員</p>	<p>今の意見に関連して、環境森林課の森林環境教育啓発強化事業で、学校34件への指導者派遣とあるが、どの地域の学校なのか、中山間地域に偏っているのかを教えてください。</p>
<p>環境森林課</p>	<p>宮崎市、串間市、綾町、木城町、西米良村等があり、県内各地で実施し</p>

	ている。
委員	これは、毎年同じ学校が同じようなプログラムでしているものなのか、毎年違う学校が受けているものなのか。どのような広がりがあるのか。
環境森林課	6年度の実績だと、入れ替わる学校も継続する学校もあり、固定化されているわけではない。
委員	環境税という県民の税を使っている以上は、しっかり教育や教育委員会とも結びついていくことが大事だと思う。イベントの参加者は、興味がある保護者が参加をするので、だんだん固定化していくとは思いますが、できるだけ広く、学校を通じて活動が広がっていければいい。
環境森林課	具体的には、令和5年度の実績だと、実施件数が52件で、そのうち令和5年度に初めて取り組んだところが21件ある。半分程度は入れ替わりながら広がりを持って取り組んでいると認識している。
委員	先ほどホームページやSNSという声があったが、県の環境のホームページを新しくリニューアルされて、SNSを今どのようにされているのか、また、今後活用していく予定があるのかを伺いたい。
環境森林課	現在のところ、ホームページの充実に取り組んでおり、SNSで発信することまで出来ていない。
委員	ホームページはたどり着いた人にしか情報がいかないのでは、それをいかに広げていくのかという工夫を今後していただけたらいいと思う。
委員	基金残高が、昨年度は1億2,000万円ほど、今回が2億2,400万円ということで増えているが、これについてはどういう予定か。
環境森林課	現在、こういったボランティア団体活動や再造林等を実際進めている上で色々な課題が浮き彫りになってきているのが現状。例えば、担い手の問題、森林所有者の問題など、解決すべき課題は多く、少し余裕を持っておきたいというのが実情である。
委員	企業の森づくり、協定締結3件とあるが、これは増えていっているのか、それとも横ばいか。
環境森林課	これは「企業の森」という名前で取り組んでいるもので、毎年3件ぐら

委員	<p>い増加している。</p> <p>もっと増やしてもいいと思うがどうか。</p>
環境森林課	<p>本日ここにいらっしゃる委員の方も企業の森に取り組んでいただいて大変ありがたい。今後も色々な会社に取り組んでもらいたいと思っており、コミッション事業の相談受付窓口を活用して、森林所有者と企業をマッチングできるようにサポートしていきたいと思っている。</p>
委員	<p>公益的機能高度発揮推進事業について、保安林については、手続きが分からないまま保安林に指定されていたり、伐採を頼まれても伐採できない。</p> <p>森林簿等のずれが生じていたり、データ化が宮崎県としても事業体としても弱いところなので、早く照合できるようにしていただきたい。</p> <p>それと関連して、素材生産事業体による再造林推進モデル事業で、うちも早速研修に取りかかって自分たちで申請できればと張り切っていたが、経営計画の作成などの壁が厚くて、なかなか事業体自身で取組みをするのが難しいが、7年度の事業には入ってない。</p> <p>この辺りはもう環境税の問題ではないのかもしれないが、再造林を推進していくのに、事業体自身が取り組みやすいようなシステムづくり、データ化して申請が何とか簡素化できないものか、事業者は頭を抱えているので、そのあたりを踏まえて今後の施策に生かしていただければありがたい。</p>
森林経営課	<p>補助事業の必要書類ということで書類を添付していただいている。再造林を進めるにあたっては、伐採と造林の一貫作業というのが非常に大事である。この事業については6年度までだが、今のご意見をしっかり踏まえながら、今後の対策・検討をしていきたい。</p>
自然環境課	<p>保安林は、指定施業要件により伐採面積や植栽義務など制限がかけられ、所有者の承諾を得て指定されている。県内の私有保安林の指定率は32%で、美郷町には保安林に関する知事権限が移譲されている。</p>
○質疑 委員長	<p><b>【（2）令和7年度使途事業における改善事業について】</b></p> <p>先程の議論の中で、情報発信をしっかりして欲しいといったようなご意見があった。県民の皆様や県内企業から徴収している税金であることから、行政だけではなく広く県民の方々にまでしっかりと情報が届くよう</p>

	な発信の仕方を令和7年度から考えていただきたいということをまずは申し上げる。
委員	流木等総合対策事業は一般の立木も対象となるのか。
自然環境課	本事業は、台風等によって山地災害が発生した際、溪流内に流木が堆積すると、溪流を堰き止め、その後の降雨等により、堆積した流木や土砂が一気に流出し、下流の人家等への影響を及ぼすおそれがあることから、それを未然に防止する事業であり、流木等を撤去・運搬し、できるだけバイオマス発電施設で有効活用することとしており、危険木等を除き、一般の立木等については、対象にならない。
委員	本県のバイオマス発電施設の状況について、教えてほしい。
自然環境課	FIT認定されているバイオマス発電施設は、現在12箇所あり、そのうち流木等を活用して発電している施設が、2、3箇所あるので、そこでの活用を予定している。
委員	県内の林野火災の発生状況と対策について教えてほしい。
自然環境課	県内の林野火災の発生件数は、令和6年は22件で、ここ数年は年間20から30件台である。林野火災を防止するには、まずは普及啓発が重要であり、1月を山火事防止月間と位置づけ、山火事防止パレードやポスター掲示など意識向上を図っている。
委員	林野火災が発生すると社会的損失が非常に大きいので、連携して情報発信していきたい。
委員	広葉樹造林等推進事業はすごく良い事業だと思う。私たちも森林づくりのボランティアで、広葉樹を植えて四季折々花が咲くような森を目指して、生物多様性が維持できるよう取り組んでいる。この事業での広葉樹の造林で選ばれるのは、どのような樹種なのか。
森林経営課	補助の対象となる樹種は、クヌギ、ナラ、ホオの木、ヤマグワ、センダン、クスの木、シイノキ、タブの木など17種類ある。 ちなみに6年度にこの事業で植えたのが8.27ヘクタールあり、樹種としてはクヌギ、楓、イチイガシである。
委員	これは補助事業ということで、森林組合や事業者がそれぞれ樹種を選ん

<p>森林経営課</p>	<p>で植えるということか。</p> <p>そのとおり。所有者さんの意向等を踏まえながら事業を行っている。</p>
<p>○質疑 委員</p>	<p>【（３）次期宮崎県森林環境税の検討状況について】</p> <p>アンケートの結果、県民の皆様が環境税に対して肯定的な意見が多くて良かったが、やはり税の取組の認知度が低い。この委員を３年しているが、普通に生活していて、この活動の発信は残念ながら届いてこない。県民の皆様は、よほど興味がない限りはなかなか情報にたどり着けないのではないか。都城市の環境まつりの実行委員会があったときに、都城市は課ごとにSNS・インスタをやっていますと言っていて、実行委員会の様子もインスタに上がっていた。待っているだけでなく、こちら側からどんどん発信していくことがすごく大事かと思う。</p> <p>もう１つ、生物多様性のところで、「オオキンケイギク」という綺麗なコスモスに似た花が外来生物だと３年ほど前に知り、都城市で地域の駆除活動にも参加した。宮崎に、もともとある生物・植物を守っていくため、外来生物を駆除していくことも大事だと思ったので、次期の活動に盛り込んでいただけたらと思う。</p>
<p>環境森林課</p>	<p>発信については色々な工夫ができていると思うので、事業を実施する際、特に募集をかける際には、できるだけ広がるような工夫を検討していきたい。</p>
<p>自然環境課</p>	<p>外来生物については約２千種あり、その中でも駆除をしないといけない特定外来生物が１６２種類指定されている。県では森林環境税を財源とした取組はしていないが、特定外来生物適正管理事業という形で事業を行っている。その中でハイイロゴケグモやオオキンケイギク等の駆除方法などについて、ホームページ等で周知を行っている。外来生物が広がらないよう、取り組んでいきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>森林環境税というと県が独自にとっている税金なので、環境に特化したオプションの政策に充てられるのかと思われる場合が多いと思うが、今回の事業内容を見ると、地域の林業振興に繋がる事業や、治山や治水に関わるような事業も含まれていて、わりと林業本筋の事業が入っているイメージがある。別にこれを環境税でやるのは違うのでは、ということをお願いわけではないが、「環境税」の本来の目的や、県民が期待している森林の働きのために、適切に環境税を活用していると見えるよう</p>

